

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	笠間市立友部小学校 全学年児童 694名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (特別活動)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>パラリンピアンへのスポーツに対する思いやオリンピックに臨んでの心情などを直接聞くことにより、東京オリンピック・パラリンピックやスポーツへの興味・関心を高めるとともに、人としての生き方についても考える機会とする。また、障害者に対する理解を深めようとする態度を育てる。</p>
5 取組内容	<p>(1) パラリンピアンによる講演会</p> <p>全校児童対象の講演会では、シドニーパラリンピックの自転車競技で金メダルに輝くなど、これまでに計4個のメダルを獲得したブラインドサッカー元日本代表の葭原滋男選手とアテネパラリンピックの自転車競技スプリントでパイロット役として、葭原選手とともに銀メダルを獲得した笠間市出身での大木卓也選手を、講師として招聘した。</p> <p>葭原選手からは、パラリンピックで選手として活躍する映像を交えながら、パラリンピックへの思いや「目が見えなくてもいろいろなことにチャレンジしたい」という気持ちを伝えていただいたり、ブラインドサッカーについても紹介していただいたりした。また、大木選手には白杖を持つ人への声掛けの実践も紹介していただいた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) 6年生による体験</p> <p>① 二人組目隠し体験</p> <p>二人組になり目隠しをした相手に、動きを言葉だけで伝える体験を行った。</p>

	<p>② ブラインドサッカー体験 講演会で紹介していただいたブラインドサッカーを体験した。クラスで男女別のチームで、コーンにボールを蹴って当てるゲームを行った。</p>  
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> • パラリンピアンのお話を聞いたり、本物のパラリンピックのメダルに触れたりすることにより、オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まった。 • パラリンピックの競技種目であるブラインドサッカーを実際に体験することで、オリンピック・パラリンピックの競技種目やスポーツへの関心が高まった。 • パラリンピックへの思いや「目が見えなくてもいろいろなことにチャレンジしたい」という気持ちを聞き、人としての生き方について考えることができた。 • 白杖を持つ人への声掛けの実践を紹介していただいたことで、視覚障害者に対する理解を深めることができた。 
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地元笠間市出身の選手を招いたことで、児童が親しみやすくなるようにした。 • パラリンピアンでメダリストである葭原選手や大木選手、本物のメダルに触れることにより、オリンピックやパラリンピックを身近に考えられるようにした。 • パラリンピアンを招いたことで、障害者に対する理解を深めることや人としての生き方について考える機会になった。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 単発な行事にならないよう今後の教育活動へのつながりを考えたい。 • 実施する対象学年や人数、保護者の参加等の検討が課題である。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本県開催の「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会」に向けて、実施競技種目や本市が会場になっている競技種目への興味・関心を高めたい。